

令和6年度第2回大船渡市地域公共交通会議 議事録

■ 開催日時及び場所

○日時 令和7年1月31日（金） 午後1時30分～午後2時45分

○場所 カメリアホール 1階多目的ホール

■ 委員数 30名

■ 出席者

○委員 25名

- ・小 岩 洋 一（岩手県交通株式会社）
- ・菅 原 克 也（公益社団法人岩手県バス協会）
- ・佐 藤 保（岩手県タクシー協会気仙支部）
- ・千 田 淳（岩手県交通労働組合大船渡支部）
- ・田 村 暢 子（社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会）
- ・上 関 み さ（大船渡市各種女性団体連絡協議会）
- ・紀 室 綾 子（大船渡商工会議所）
- ・佐 藤 恵 子（大船渡市老人クラブ連合会）
- ・佐 藤 惟 司（大船渡市地区公民館連絡協議会）
- ・佐々木 亜津子（東北運輸局岩手運輸支局）
- ・鷹 木 讓（南三陸沿岸国道事務所大船渡維持出張所）
- ・佐々木 修（大船渡地域振興センター地域振興課）代理：荒屋 優志
- ・櫻 井 秀 明（大船渡土木センター道路整備課）代理：東城 直貴
- ・寺 島 英 明（大船渡警察署）
- ・宇佐美 誠 史（岩手県立大学総合政策学部）
- ・平 藤 一氏幸（東日本旅客鉄道株式会社気仙沼統括センター）
- ・山 蔭 康 明（三陸鉄道株式会社大船渡派出所）
- ・佐 藤 李 沙（大船渡市観光物産協会）代理：大和田 恵美
- ・佐 藤 秀 之（大船渡観光バス事業協同組合）
- ・佐 藤 雅 俊（大船渡市企画政策部）代理：炭釜 秀一
- ・山 岸 健悦郎（大船渡市協働まちづくり部）
- ・安 居 清 隆（大船渡市市民生活部）代理：佐々木 直央
- ・佐々木 義 和（大船渡市保健福祉部）
- ・金 野 尚 一（大船渡市都市整備部）代理：古澤 愛子
- ・伊 藤 真紀子（大船渡市教育委員会）代理：藤原 明美

○事務局（大船渡市商工港湾部企業立地港湾課） 4名

商工港湾部長：富澤 武弥

企業立地港湾課長：大和田 達也、課長補佐：今野 宏、主事：平田 将大

○大船渡市地域公共交通計画策定調査事業 受託事業者 2名

- ・新 宮 透（株式会社ケー・シー・エス）
- ・菅 原 直 樹（株式会社ケー・シー・エス）

■ 議事の経過（協議内容等）

1 開 会

司会： 委員 30 名中、25 名出席報告があり、現在 24 名出席しておりますので会議設置要綱第 6 第 2 項の規定により、会議が成立していることを報告します。本日出席の委員の皆様はお手元に配布しました出席名簿のとおりです。次第に則り会長よりあいさつをいただきます。

2 あいさつ

会長： お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。今年度第 2 回の交通会議ということで主な内容としては市内公共交通サービスの利用状況と国から補助いただいている事業について自己評価をだすというのがありまして、この内容についてみなさまからご意見を頂くとということでもあります。この中身を見えますと現行の公共交通計画は来年度で終了して新しい計画を作らなければいけない。現状の大船渡市の公共交通の課題をみなさまに共有して、計画更新に向けて議論していく大事な場になります。みなさまから意見をいただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

（ここから宇佐美会長が議長となり進行）

3 報 告

(1)市内公共交通サービスの利用状況について

事務局より報告（資料 1）

【質疑等】 質疑等なし。

4 協 議

(1)地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（自己評価）について

事務局より報告（協議資料）

㈱ケー・シー・エスより報告（参考資料）

【質疑等】

岩手県交通： 当市で市内路線バスを運行しております。参考資料の課題等であるとおおり、確かに他の交通機関と時間が合わなかったりするところは承知しています。課題 1 のところでは、便によって偏りがあるとありますが要員不足で便数を増やしていくというのがなかなか難しい状態になっています。再編に伴い、一部路線を廃線するところもでてくるかもしれませんが、そこを原資にして利用が多いところを増やしていくような再編になっていくかと思えます。

次に課題 5 の部分ですが、BRT に朝の時間帯が接続できないとあります。バスから BRT に接続するお客様よりも BRT・三鉄で盛駅に行き、大船渡高校や大船渡東高校、住田高校に行く需要の方が多いという当社の判断があり、そちらを中心に運行している部分もあります。南に行く方は接続ができないとありますが乗降調査などしていただいてニーズもあるとわかれば検討していきたい

と思います。

課題6の部分でGTFSに関してありますが、当社はGTFSデータを公開していますが一時期不具合があり、公開できない時期がありました。現在は現行ダイヤがgooglemapにも公開されている状況にありますので継続していきたいと思っています。

最後に、課題7で収支率が悪化しているとありますが、当社は運転士不足であり、待遇改善として人件費等を徐々に上げていっているため経費は今後も増加傾向になっていくと思われます。市の財政負担も増えることから利便増進計画等の検討や大船渡住田線では国庫補助の要件から外れてきますので利便増進計画の策定が必要になってくるかと思っています。当社も一緒に協力していきたいと考えています。

会長： googlemap のところの記述の表現は「一時期見れなかったが」というように改めてもらえればと思います。事務局から何かありますか。

事務局： ありがとうございます。KCSさんより課題をそれぞれ説明していただきましたが、全てが来年度交通計画の更新作業の際に市役所庁内でも検討しなければならない内容なのでその検討材料として生かしていきたいと思っています。

会長： その他なにかご意見等ありますか。

委員： 課題がいくつか挙げられていますけども、来年度、交通計画を更新するところで現段階での来年度のスケジュールはどのようになっていますか。

事務局： スケジュールに関しては、来年度第1回の交通会議の際にお示ししたいと考えています。その前に庁内会議へ諮った上でみなさんにお知らせしたいと思います。最終目標は来年この会議で令和8年度からの計画を諮るというゴール地点を目指して、現在も基礎調査を進めているところなので時期を見ながら、みなさまからご意見をいただき、作成していきたいと考えています。

委員： 協議資料の最後のページにある今後の取組については、今年度の取組という認識でいいでしょうか。

事務局： 令和6年度取組のスケジュールになります。

委員： わかりました。骨子案を作ってからそれがたたき台になると思いますのでそこから先、どのように作りこむかが大事かと思っています。十分なスケジュール感を持ってやっていただきたいと思っています。

会長： 協議資料に関しては、今年度国の補助事業を受けた事業に関してなので今年度内のスケジュールということですが、他にいかがですか。

委員： 課題5に盛駅を中心とした公共交通同士の連携とありますがそれにあわせて、盛駅の駅前には駐車場をロープで囲っており、駅前とは思えないです。市の政策として、3つの公共交通が交わる拠点としてどうするのか、新たな利用者や観光客を誘客するために中心になる盛駅を市役所としてこのままでいいのでしょうか。かつて駅裏の駐輪場は高校生の自転車で満杯でしたが、今はがらがらであり、親の車で送迎になっているかと思います。学校側にも公共交通を使う方向性を考えて頂きたいです。かつての公共交通を使っていた通学生を取り戻すといったことも考えながら、盛駅の在り方を市全体として検討する必要があるのではないかと思います。

会長： 今のご意見は駅前広場の在り方についてのご意見だったかと思いますが他にコメント等ありますか。

事務局： 児童・生徒数も少なくなる中、親の送迎も多くなったという状況はその通りです。我々もなるべく登下校に公共交通を利用しやすい環境、公共交通機関間の連結、結節点の駅、停留所の環境をみなさんの意見を聞きながら検討していきたいと思っています。

会長： 公共交通で考える部分と都市整備で考える部分とがあり、広い範囲に渡るところなので市内部でも色々ご意見を交わしてもらえればと思います。その他意見等ありませんでしょうか。

(意見なし)

それでは協議(1)地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(自己評価)について内容について承認してよろしいでしょうか。

(異議等なし) ⇒原案のとおり承認

(2)その他

会長： 意見等ある方いますか。

(意見等なし)

(会長はここで議長の任を終了)

5 その他

事務局： その他ご意見ある方いますか。

岩手県交通： 岩手県交通で導入を進めていました地域連携 IC カードが2月5日から大船渡営業所管内で順次導入となりました。令和3年3月盛岡地区から順に進めてきており、一番最後となりましたが大船渡営業所が導入スタートとなります。こちらのカードは JR さんの「Suica」の機能を持ったカードになるので当社のバスに乗れますし、「Odeca」のカードでも乗れるようになります。「Iwate Green Pass」で当社バスに乗っていただきますと3%のポイントがつき、ポイントが貯まりましたら自動的にポイントで支払いとなりますので是非ご利用いただきたいです。

2月5日にはマイヤ大船渡店にて午前10時30分から大船渡市とセレモニーを計画しており、その場で IC カード販売等も行う予定ですのでみなさまご利用をお願いしたいです。2月5日から順番に導入され、2月中には全てのバスが IC カード対応となりますが、それまでは IC カード対応のバスとバスカード対応のバスが混在することになるので、バスカードと IC カードの2枚持ちするような形でお願いします。使い終わった後のバスカードも手数料なしで払い戻しの対応をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

三陸鉄道： いつもお世話になっております。三陸鉄道は昨年4月に40周年を迎えて、記念イベント等を実施していますが人口減少等で数字が上がってこない状況です。まずは地元の方々に利用していただきたいところではありますが、保護者の送り迎え等々、高校生の利用も少なくなってきました。年中お願いしているところですが、特に冬場の時期は道路状況も悪かったりしますので、通勤定期の購入を勧めています。また、お配りしたチラシにもありますが、車両貸切で行事しませんかというものです。地域行事等々、是非ご利用いただきたいと思います。

事務局： 岩手県交通さんへ確認ですが、IC カードを営業所で販売しているとのことですが、それ以外にどこか人が集まる場所やイベントで販売する予定はないですか。

岩手県交通： 今のところ2月5日は販売を考えており、それ以外に予定はなく、昔はサンリアに窓口がありましたが、今は閉鎖されたので大船渡営業所になってしまいます。もしイベント等で販売して欲しいとの要望があれば大船渡営業所で出来る限り対応したいので相談いただければと思っております。

事務局： なかなか大船渡営業所まで足を運べない高齢者の方も多いため、広く普及するようなアイデアを考えていただければと思います。

東日本旅客鉄道： 日ごろから BRT・盛駅ご利用ありがとうございます。昨年、BRT 専用道の工事に伴い、長期間迂回運行しましてお客様に多大なご迷惑をおかけし、申し訳ございません。おかげさまで工事も無事に終了し、ご協力ありがとうございました。BRT に関しても公共交通の中で様々取り上げていただくことは BRT の使命があると感じた次第です。

BRT については、3月15日 JR 全体のダイヤ改正に合わせて BRT もダイヤ改正となります。この件は12月13日にプレスリリースとなっております。大船渡線 BRT について、ダイヤが大幅に変更となります。理由は一関から気仙沼までの鉄道の時刻が大幅に見直しとなり、それに合わせて鉄道から BRT への乗り継ぎが現行ダイヤでは合わないものです。朝早い時間帯の一部とりやめ、夜の場面では気仙沼から盛の直通であったものが陸前高田で乗り継ぎと一部ご不便をおかけすることとなります。適正な輸送量を確保しながら、ご利用のお客様が移動できるような時間帯に運行する考えていますので何卒ご理解いただきたいです。引き続き、ご利用状況、適正輸送量を踏まえ、継続的な事業運営をするために効率的な運行を検討していきますのでご理解いただきたいと思います。

BRT は JR の便ですが、バス運行事業は岩手県交通様に受託いただいておりますので先ほどのとおり、バス乗務員の不足問題、法律改正に伴う乗務員の労働時間の規制など厳しくなっていく中で BRT の輸送についてご理解をいただければと思います。

昨年、大船渡駅イルミネーションの関係で声をかけていただきました。我々も地域のみなさまと関係をつくれるように日頃からコミュニケーションを図りたいと思っており、特に地域のイベントについては BRT の臨時便の設定、お客様の利用が見込まれる際にはバスの増運をかけるなど含めて取り組んでいく次第ですのでよろしくお願いいたします。

事務局： ありがとうございます。他にどなたかご質問等ありますでしょうか。

(質問等なし)

大変ありがとうございました。以上を持ちまして令和6年度第2回大船渡市地域公共交通会議を閉会します。お忙しいところ大変ありがとうございました。

6 閉 会

14時45分終了。